老人の日・敬老の日に「火の用心」の贈り物！ 「住宅防火・防災キャンペーン」！

近年、住宅火災における死者数は、900人前後の高い水準で推移しており、このうち約7割が65歳以上の高齢者となっています。また、高齢化の進展とともに、住宅火災による死者のうち高齢者の占める割合が増加していることから、消防庁では、「老人の日・敬老の日に『火の用心』の贈り物」をキャッチフレーズに、改めて高齢者とそのご家族の方々に、火災予防の取組を行うよう注意喚起するとともに高齢者に住宅用防災機器等をプレゼントすることなどを呼び掛ける「住宅防火・防災キャンペーン」（キャンペーン期間：9月1日～21日）を平成24年から実施しています。

住宅防火・防災キャンペーン
キャンペーン期間 令和7年 9月1日(月)～21日(日)

老人の日・敬老の日に「火の用心」の贈り物
*老人の日:9月15日
*敬老の日:9月15日
(日付の異なる年あり)

近年、住宅火災による死者数は増加傾向であり、死者数の7割以上が高齢者となっています。
住宅火災から高齢者を守りましょう。

住宅用火災警報器
すべての住宅に設置が必要な住宅用火災警報器。故障や電池切れで万が一の時に作動しないことがないよう、定期的な作動確認し、10年を目安に交換することが大切です。

感震ブレーカー
地震による電気火災を防ぐため感震ブレーカーを設置しましょう。

防災品
いざという時に備えて住宅用防災機器等(住宅用火災警報器・住宅用消火器・防災品など)を身近に備えましょう。

住宅用消火器

住宅防火に関する資料や動画はこちらからご覧いただけます。

FDMA 総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

身近な防災・防犯プロジェクト

お問い合わせは、高田消防署 予防課
(0745-25-0119)
まで、お気軽にお問い合わせください！